



水のうオッチング

—表紙 新緑の源流—

大山の散策中に見つけました。この癒される景色にしばしシャッターを切りつづけたうちの1枚です。

第8回 日野川フォトコンテスト入賞作品 一般Aの部 真砂 昇平さん

撮影場所：江府町 木谷川

日野川流域 ものしい手帳

日野川、 もの知りさんに聞いてみよう・21

すいせいせいぶつ 水生生物調査

～夏休みに、やってみませんか？～

みなさん、夏休みの自由研究は何をするか決まりましたか？自由研究の題材として「川」を研究してみてもどうでしょうか。ここでは川に住んでいる生き物を調べて、水がきれいか、きたないかを調べることがかんたんにできる「水生生物調査」を紹介します。

・水生生物ってなに？

川の中には、ヤマメ・ウグイなどの魚類、カゲロウ・トンボ・トビケラなどの水生昆虫、サワガニの仲間、カワナなどの貝類、ヒルやミミズの仲間などさまざまな生き物が住んでいます。これらをまとめて水生生物と呼んでいます。

水生生物の中でも、とくに、カゲロウやサワガニなど、川底に住んでいる生き物は、水のきれいさのていど（水質）を反映しています。したがってどのような生き物が住んでいるか調べることによって、その地点の水質を調べることができます。



・用意する物

タモ網、ピンセット、虫めがね、バケツ、白いパレット、筆記具、記録用紙。

・調査する場所

水の深さが30cm位で、流れがあり（流速30～40cm／秒位）、川底にこぶしや頭位の大きさの石の多い場所です。川の上流、中流、下流で調査を行うと、水質の違いがよく分かります。



・調査のしかた

下流側にタモ網を置き、石を静かに取り上げ、容器の中に入れます。そして、石の表面についているカゲロウなどの小さな生き物を、ピンセットでパレットに採取していきます。下流側にしかけておいたタモ網もチェックしましょう。



・水質の判断のしかた

採取した生き物を分類し、その数から水質を4段階（きれいな水、少し汚い水、汚い水、大変汚い水）に分けて川の水質を判断します。

みなさんもぜひこの夏チャレンジしてみてください。暑い夏の日に川の中に足を入れるだけでも気持ちいいですよ。調査を行う時は、一人では行かずに、友達や、大人の人と行きましょう。川の中は急に深くなっているところや、流れの速い場所がありますので注意しましょう。詳しい調査のやり方等を書いた本が、日野川河川事務所にありますので、興味のある方はご連絡ください。



問い合わせ先 国土交通省日野川河川事務所調査設計課
TEL 0859-27-5484